

博士前期課程(修士) / 看護専門領域 / 地域・精神・保健学分野
科目コード:220022

精神保健看護学演習Ⅱ Mental Health and Psychiatric Nursing Seminar Ⅱ

担当教員	美濃 由紀子、大江 真吾				
実務経験	病院勤務経験のある教員が担当している。				
開講年次	2年次前期	単位数	2	授業形態	学生中心の討議
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	研究方法論、精神保健、メンタルヘルス、権利擁護、急性期・回復期の看護、リハビリテーション看護、家族精神看護、在宅精神看護				
学習目的・目標	【目的】 精神保健看護学の分野における研究倫理、参加観察と質的研究の方法論について理解を深め、臨床家の問題意識に沿って研究課題を発見し明確化できる能力、並びに研究成果を臨床の場で実践できる能力を修得する。 【目標】 ①論文クリティーク、文献レビューを通じて、研究の動向や研究方法について討議・考察ができる。 ②参与観察法を始めとするフィールドワーク方法論の理論的な背景について、社会学、文化人類学等の関連領域の蓄積も併せて広い視野から理解すると共に、質的研究の方法論について理解を深めることができる。 ③収集したデータが示す意味について理解・考察することができる。 ③グループ討議の中で、自らの役割や特性を生かした発言ができ、討議に貢献することができる。				
授業計画・内容					
回	内容				担当
1-2	精神保健に関する文献レビュー・文献クリティーク(1)				美濃、大江
3-4	精神保健に関する文献レビュー・文献クリティーク(2)				美濃、大江
5-6	精神保健に関するデータの収集の方法(1)				美濃、大江
7-8	精神保健に関するデータの収集の方法(2)				美濃、大江
9-10	精神保健に関するデータの理解と分析(1)				美濃、大江
11-12	精神保健に関するデータの理解と分析(2)				美濃、大江
13-14	精神保健に関する研究結果の理解と考察の検討(1)				美濃、大江
15	精神保健に関する研究結果の理解と考察の検討(2)				美濃、大江
教科書	教科書としては特に指定しない。学生自身が参考となる図書等を自ら選定すること。				
参考図書等	学習の進行に合わせて適宜紹介する。				
評価指標	授業回数の2/3以上の出席者を評価対象とする 事前・事後学習50% グループ討議・貢献度30%、プレゼンテーション20%				
関連科目	精神保健看護学特論Ⅰ、精神保健看護学特論Ⅱ、精神保健看護学演習Ⅱ				
教員から学生へのメッセージ	主に学生が主体的に運営するゼミ形式とする。学生自身の研究テーマに関する事前学習、事後学習を重視する。 授業内容やテーマは学生の関心や学習状況に応じて柔軟に対応するため、変更する場合がある。 日時は、講師・学生都合で変更される場合がある。				